

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名	姫路大学（学部・学科等の課程）（通学）				設置者名	学校法人 弘徳学園			
学部・学科等の名称等				認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 （令和５年度）			
学部	学科等	設置 年度	入学 定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状 取得者数		教員 就職 者数
							実数	個別	
教育学部	こども未来学 科	平成20年度	80人	幼一種免	平成20年度（令和元年度）	84人	76人	30人	47人
				小一種免	平成20年度（令和元年度）			50人	
				養教一種免	平成20年度（令和元年度）			20人	
入学定員合計			80人	合計		84人	76人	100人	47人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、令和６年４月１日現在の名称・定員を記載してください。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数を記載してください。								

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名	姫路大学（学部・学科の課程）（通信）				設置者名	学校法人 弘徳学園			
学部・学科等の名称等				認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況（令和５年度）			
学部	学科等	設置年度	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
							実数	個別	
教育学部	こども未来学科 通信教育課程	平成20年度	200人	幼一種免	平成20年度 （令和元年度）	140人	102人	87人	25人
				小一種免	平成20年度 （令和元年度）			38人	
				養教一種免	平成20年度 （令和元年度）			29人	
入学定員合計			200人	合計		140人	102人	154人	25人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、令和６年４月１日現在の名称・定員を記載してください。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数を記載してください。								

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：令和6年12月3日（火）

実地視察大学：姫路大学（実地）

【全般的事項】

○教員養成に関する教育課程、教育研究実施組織等については、一部是正が必要な箇所はあるものの、全般的に基準を満たしており、良好に実施されている。引き続き、教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

○教員養成に対する明確な理念を挙げているが、その目標を具体化するために、今後も教職課程に対する全学的な組織の在り方の検討及び教職課程や教員組織がより一層充実したものとなるよう努めていただきたい。

○「大学における教員養成の原則」の趣旨を踏まえ、実践的な教育だけでなく、理論的な教育についてもバランスよく行う必要があるため、今後、教員組織等のあり方について、検討いただきたい。

2. 教育課程、履修方法及びシラバスの状況、教員組織

○一部の授業科目について、教職課程コアカリキュラムを満たしていないものが見受けられた。シラバス等について、再度見直しを行うとともに、シラバスが教職課程コアカリキュラムを満たしているか等、教職課程における質保証を担保する体制を検討いただきたい。

3. 教育実習の取組状況

○近畿圏内においては、通信課程も含め、教員が訪問指導を行っていることが確認できた。遠方で実習を行う学生についても、学生に直接指導を行えるような体制について検討いただきたい。

○教育実習は、大学による教育実習指導体制や評価の客観性の観点から、遠隔地の学校や学生の母校における実習ではなく、可能な限り大学が所在する近隣の学校において実習校を確保することが望ましい。なお、通信課程では、学生の負担軽減等の観点からやむを得ず遠隔地の学校や学生の母校における実習を行う場合においても、実習先の学校と連携し、大学が教育実習にいっそう関わる体制を構築するとともに、実習期間中の学生への適切な指導方法、公正な評価が保証されるよう、今後とも努めていただきたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 通学課程の学生だけでなく、通信課程の学生についても、きめ細やかな履修指導を行っていることが確認できた。
- 学生の将来に繋がる教職指導について、個々の教員の取組については確認できたが、今後、通信課程も含めた、全学の体制の更なる充実に向けて検討していただきたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 今後、近隣の学校における実習先の確保なども含め、地元教育委員会との連携を進めていくことを検討していただきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 施設・設備の環境について、概ね良好に整備されていることが確認できた。
- 実践的な図書だけでなく、理論が学べる図書等についても、今後、充実に努めていただきたい。
- 今後、学生が ICT の利活用ができるような学内の環境整備を検討していただきたい。

7. その他特記事項

- 様々な実習室やプレイルーム等の環境が整っていた。
- 学生の自習スペースが充実していた。